

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年8月6日

| | | | |
|------------------|---|---------------|------------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 農学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部4 |
| 参加プログラム: | ②41 Supported by UTokyo Alumni (Language study type) International Foundation Courses and English Language Studies (IFCELS) Summer Courses (SOAS, U London) | 派遣先大学: | ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS) |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| | 1. 研究職 | | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| | 3. 公務員 | | 4. 非営利団体 |
| | 5. 民間企業(業界:) | | 6. 起業 |
| | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

SOASはSchool of Oriental and African Studies(東洋アフリカ研究学院)の略で、アジア・アフリカ・中近東の地域研究を行う大学です。ロンドン大学の一つであり、大英博物館のすぐ近くと立地もよいです。

参加した動機

留学に興味はありましたがなかなか機会がなく、学部生のうちに短期間でも経験しておきたいと思い、日程的に参加可能なこのプログラムを選びました。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

提出しなければならない書類が非常に多くあり、提出期限などもまちまちなので、計画的に手続きを行った方がいいと思います。提出書類リストをチェックしながら準備を進めましょう。SOASへの手続きはわりと簡単にできます。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

特に必要ありません。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

薬を多めに準備しました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学で加入するもののみ加入しました。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

4年生であり、授業を特に履修していなかったため授業に関しては問題ありませんでした。指導教員の先生に事前に許可をいただきました。

| |
|---|
| ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等) |
| 卒論の調査やゼミ発表が忙しく、思うように準備ができませんでした。 |
| ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど |
| だいたいのは揃っているのですが、特に持参した方がいいものはないように思いますが、自炊をするなら調味料などは持って行った方がいいかと思います。 |
| 学習・研究について |
| ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等) |
| 英語圏の大学に進学することを想定したアカデミック・イングリッシュのコースを受講しました。具体的には、午前中にreading・writing、午後にはlistening・speakingの授業がありました。受講者全体をレベル別に二つのクラスに分け、各7、8人の少人数クラスでした。午前の授業ではアカデミックな場面に於いての英文の読み方や書き方を学び、希望者はエッセイを添削してもらえ、午後の授業では、英語による講義の聞き方やディスカッションをする上でのポイントなどを学び、最終日には5分から10分程度のプレゼンテーションを行いました。私のクラスは全員の国籍が異なっていました。 |
| ②学習・研究面でのアドバイス |
| 授業内容自体は難しくありませんが、話せることが前提で授業は進んでいきます。英語での会話が問題ない人には物足りないかと思います。 |
| ③語学面での苦勞・アドバイス等 |
| しばらく英語に触れない生活を送っていたため、最初思うように話せず苦勞しました。当たり前ですが、渡航前にきちんと準備した方がいいと思います。 |
| 生活について |
| ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など) |
| 大学が斡旋していた寮に滞在しました。このプログラムに参加している学生はほとんどその寮に滞在していますが、値段は割高です。基本的に個室で、キッチンだけ5、6人でシェアする形でした。 |
| ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など) |
| 私の渡航時期(7月)は天気にも恵まれ、日本の同時期よりもずっと過ごしやすかったです。ただ寒暖差が激しかったので、上に羽織るものを多めに持っていくとよいと思います。食事は自炊もできます。寮の周りにも大学の周りにも食べる場所は多いので特に困ることはないです。お金は現金とクレジットカードを併用しました。地下鉄の券売機など、ICチップのついたクレジットカードしか使えない場所もあるので、ICチップ付きのカードを一枚用意するといと思います。 |
| ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など) |
| 滞在中様々なところでかかりましたが、特に危険を感じたことはありませんでした。夏期は夜10時くらいまで明るいのもあったと思います。体調を崩すこともなかったので医療機関についてはわかりません。 |
| ④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算) |
| 授業料:1200ポンド 家賃:730ポンド 航空賃:10万円くらい 生活費:12万円弱 生活費に関しては週末に遠出したり、ミュージカルを見に行ったりした費用も含んでいるので、節約は可能だと思います。 |

| |
|---|
| ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など) |
| 東大卒業生のものとJASSOのものをいただきました。 |
| ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など) |
| 授業が早めに終わるので、放課後はクラスメイトとでかけたり、ミュージカルを見に行ったりしていました。週末はバーミンガムやバースなどへ遠出もしました。 |
| 派遣先大学の環境について |
| ①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等) |
| 学習面・生活面ごとに担当のアドバイザーの先生がいらっしゃいました。 |
| ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等) |
| 図書館が非常に広く、充実していました。ただ、図書館のパソコンは早めの時間に使えなくなってしまうらしく、クラスメイトが文句を言っていました。パソコンを使いたい方は持参した方がいいと思います。構内はしっかりとしたWi-Fiが完備されており、ネット環境は良好でした。 |
| プログラムを振り返って |
| ①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感 |
| 上記のように様々な国籍の生徒がいるクラスだったので、想定していた以上に国際交流ができ、楽しかったです。ただ、思うように言いたいことが言えないことが多々あり、自分の英語力不足を感じました。英語を勉強するモチベーションは上がったので、帰国後も学習を継続させていきたいと思います。 |
| ②参加後の予定 |
| 大学院に進学し、現在所属している研究室にそのまま所属する予定です。 |
| ③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス |
| 短期留学は長期休みに気軽に行けるので、興味があるならできるだけ早い時期に経験した方がいいと思います。 |
| その他 |
| ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物 |
| 『地球の歩き方』 |
| ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。 |
| |

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年9月1日

| | | | |
|-------------------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 教養学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部2 |
| 参加プログラム: | SOAS IFCELS summer session | 派遣先大学: | SOAS(ロンドン大学東洋アフリカ学院) |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究職 | <input type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. 民間企業(業界:) | <input type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

「ロンドン大学」という大学はロンドンにある大学の総称のようなものです。SOASは其中でもアジア・アフリカ研究に特化した大学となっています。所在地はロンドンという文京区のような、教育機関が集まっている区画です。夏季の短期講座のみ西洋分野に関する講座が開講されます。

参加した動機

後期課程で美術に関わる勉強をしたいと思っており、奨学金が支給されるサマースクールの中で美術に関係する講座を探していたところ、SOASのプログラムの中に当てはまるものがあったため。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

申し込みは英語を使ってホームページから自分ですべて行わなければいけません。また支払いの際はクレジットカードが必要です。わからないことがあれば早め早めにSOASに直接メールして尋ねましょう。延泊手続きの際だけ、メールではなく電話でないと最後の支払いが完了できなかったのが手間でした。(私はスカイプの国際電話機能を使って行いました)

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

日本人と韓国人の場合、6か月以内なら空港で押してもらったスタンプがビザ代わりにになります(変わることもあるので要確認)。なので特別にビザを取る必要はありませんでした。入国の際studentであることをきちんと伝えないと、そのスタンプを押してもらえないので注意してください。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

健康診断等特別な準備は必要ありませんでした。常備薬を持って行きました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学に勧められたものに加入しました。

| |
|--|
| <p>⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)</p> |
| <p>特にありません。</p> |
| <p>⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)</p> |
| <p>イギリス英語の発音に慣れるためにイギリスのドラマを見て耳を慣らしました。また授業内容について事前に知識を入れてから行くことをお勧めします。入門編とはいえアートの授業の場合は普段聞かない用語も多く出てくるので、全く知識がないとついていくのがかなり大変だと思います。</p> |
| <p>⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど</p> |
| <p>日本語のモダンアートについての本を一冊持っていきました。SOASに留学されている日本人のブログを読んで、大学の雰囲気や予めつかむのも有用だと思います。</p> |
| <p>学習・研究について</p> |
| <p>①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)</p> |
| <p>IFCELSは専門科目＋語学サポートの授業で構成されています。基本的にどのコースもpreview→専門科目の講義→reviewという形で進み、アートのコースはこれに加えて授業内に美術館訪問を行います。(スケジュールは写真参照) コース間で差があることも多々あります。例えばアートの場合宿題はほぼ出なかった分、最終プレゼンの時間が1班(3人)につき20分だったのに比べ、他のコースでは宿題が毎日出る代わりにプレゼンの負担が軽いことがありました。またpreview/reviewがどれくらいしっかりしているかもコース間で違うと思われます。</p> |
| <p>②学習・研究面でのアドバイス</p> |
| <p>他のコースに比べて、アートのコースは全体的に緩かったように思います。Previewでは次の講義に出てくる新出単語のプリントが配られるのでそれを見て生徒間で確認し合い、講義のアウトラインを見て少し話します。たまに先生が講義に関係ある絵を見せて問いを投げることもあります。Reviewでは、その授業に関する質問の紙が配られてそれについて生徒間で話すときもあれば、授業の内容で疑問に思ったことをざっくばらんに話すというときもありました。preview/reviewともにそこまでしっかりと「語学力を強化する」という感じではなく、むしろ専門の講義に重点が置かれている印象を受けました。</p> |
| <p>③語学面での苦勞・アドバイス等</p> |
| <p>この授業はアカデミックイングリッシュのレベルが高なくてもついていくことは可能です。ただ自分の会話力の無さは実感しました。IELTS5.5から履修することが可能な授業ですが、speakingで6.0くらいはないと辛いのではないかと思います。</p> |
| <p>生活について</p> |
| <p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p> |
| <p>SOASの寮(dinwiddy house)に滞在しました。寮はフラット形式で、6人で1つのキッチンを共有し、それぞれに個室がありました。個室にはシャワー・トイレがついており、間がカーテンで仕切られています(三鷹寮のイメージ)幸い私の部屋は寝具・食器一式が最初から備わっていました。ただ初日にトイレの電気がつかなくて困りました(トイレの外上側に元スイッチのようなものがありそれを押すとつきました)フラットのキッチンには幸い調理器具一式がそろっており電気ケトルまでありましたが、冷凍庫が壊れていたのと、最終日にコンロがつかなくなりました。調理器具の備えはかなりフラットごとに差があるかと思えます。部屋のクリーニングサービスが私の部屋は毎週金曜に入っていたのに隣の部屋には入らないといったこともありました。</p> |

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は北海道と同じくらいです。湿度・気温ともに日本より低く過ごしやすいです。ただ気温差があるので半袖だけでなく、長袖の羽織を持っていきましょう。3週間の中で最高気温19度の日から29度の日まで変動幅が大きかったです。また朝晩と昼の気温差も大きいです。交通機関は「オイスターカード」というロンドン版スイカのようなものを購入します。食事は普通においしかったです。お金は海外対応のデビットカードと現金を併用しました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

基本的にロンドンでは安全です。地下鉄・バスもあまり遅い時間でなければ治安に問題はありません。夜8時くらいまで夏は明るいので、医療機関にはかからなかったのでもらいたかったので薬局(Boots)に目薬を買いに行くと、軟膏の方を勧められて7ポンドほどで購入しました。少し心配でしたが効きました。

④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

航空費20万円、授業料+宿泊費32万円、

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

大学から支給される奨学金10万円+JASSOからの奨学金10万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

基本的に自由時間はすべて観光に費やしました。せっかくロンドンにいるのと夏で日が長いので、使える時間はできるだけ外に出ました。クラスの子と出かけることもありましたが、一人で行動することも多かったです。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

大学では特に問題が発生しなかったのでもらいたかったので、寮は人によって対応の差があるので、もし忘れられているなと思ったら何回も確認した方がいいです。(私は備品をすぐ補充してもらえたが、別の生徒はなかなか対応してくれなかった、など)

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館・食堂を利用することができますが、あまり利用しませんでした。大学・寮のwifiはともに速度十分でした。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

実際に作品を見る機会があるのがこのプログラムの一番の魅力だと思います。ナショナルギャラリーやテートモダンといった有名どころから、あまり知られていないけれど面白いギャラリーまで授業内で行くことができました。モダンアートについて語る際はどうしても抽象的な話題が多くなりますが、そこに英語で発言していくのが難しかったです。日本語の思考レベルに追いつくくらいの英会話力がほしいと思いました。また、クラスでは韓国人・台湾人の生徒と特に仲良くなりましたが、それは互いに文化背景が似ている共通点が多かったことも大いに関係しています。そのため「日本人」を超えて「アジア人」であることを意識したのが新鮮でした。

②参加後の予定

ロンドンコンパクトで住みやすく、文化施設も充実しているうえ雰囲気も自分にとっても合っていると感じました。交換留学でロンドン市内の大学に留学することを検討中です。

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

block2と3は日本の大学の夏休みと被っているため、日本人が多くなります。上智大学・ICUの生徒が団体で来ており、フラットがほぼ日本人ということもありました。また授業も、日本人に人気のコース(グローバルビジネス・開発学など)は生徒がほぼ日本人だったそうです。アートは14人中日本人は2人でした。ただしモダンアートが好きでない次第につまらなくなってくると思います。実際生徒の中にもモダンアートに飽きてしまっただけの授業外ではできるだけ美術に触れないようにしだす人もいました。興味がある方には良い機会になると思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

ガイドブックについて、3週間程度であればイギリス全土用よりロンドンに特化したものを持っていく方が良いでしょう。私は地球の歩き方が発行している女子用のロンドンガイドブックを持参しました。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

寮と、授業スケジュールの写真



Normal Programme Process and English language classes

Block 2: 14 - 18 August 2014

Subject: Lectures/Read (POM) & Practice (Creative English) (CC)

Block 2: 14 - 18 August in Roman: POM

| Monday | Tuesday | Wednesday | Thursday | Friday |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|
| 10:00-11:00 Registration | 10:00-11:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms |
| 11:00-12:00 Registration | 11:00-12:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms | 11:00-12:00 Lectures/Proms |
| 12:00-13:00 Lunch | 12:00-13:00 Lunch | 12:00-13:00 Lunch | 12:00-13:00 Lunch | 12:00-13:00 Lunch |
| 13:00-14:00 Lectures/Proms | 13:00-14:00 Lectures/Proms | 13:00-14:00 Lectures/Proms | 13:00-14:00 Lectures/Proms | 13:00-14:00 Lectures/Proms |
| 14:00-15:00 Lectures/Proms | 14:00-15:00 Lectures/Proms | 14:00-15:00 Lectures/Proms | 14:00-15:00 Lectures/Proms | 14:00-15:00 Lectures/Proms |
| 15:00-16:00 Lectures/Proms | 15:00-16:00 Lectures/Proms | 15:00-16:00 Lectures/Proms | 15:00-16:00 Lectures/Proms | 15:00-16:00 Lectures/Proms |
| 16:00-17:00 Lectures/Proms | 16:00-17:00 Lectures/Proms | 16:00-17:00 Lectures/Proms | 16:00-17:00 Lectures/Proms | 16:00-17:00 Lectures/Proms |
| 17:00-18:00 Lectures/Proms | 17:00-18:00 Lectures/Proms | 17:00-18:00 Lectures/Proms | 17:00-18:00 Lectures/Proms | 17:00-18:00 Lectures/Proms |
| 18:00-19:00 Lectures/Proms | 18:00-19:00 Lectures/Proms | 18:00-19:00 Lectures/Proms | 18:00-19:00 Lectures/Proms | 18:00-19:00 Lectures/Proms |
| 19:00-20:00 Lectures/Proms | 19:00-20:00 Lectures/Proms | 19:00-20:00 Lectures/Proms | 19:00-20:00 Lectures/Proms | 19:00-20:00 Lectures/Proms |
| 20:00-21:00 Lectures/Proms | 20:00-21:00 Lectures/Proms | 20:00-21:00 Lectures/Proms | 20:00-21:00 Lectures/Proms | 20:00-21:00 Lectures/Proms |
| 21:00-22:00 Lectures/Proms | 21:00-22:00 Lectures/Proms | 21:00-22:00 Lectures/Proms | 21:00-22:00 Lectures/Proms | 21:00-22:00 Lectures/Proms |
| 22:00-23:00 Lectures/Proms | 22:00-23:00 Lectures/Proms | 22:00-23:00 Lectures/Proms | 22:00-23:00 Lectures/Proms | 22:00-23:00 Lectures/Proms |
| 23:00-24:00 Lectures/Proms | 23:00-24:00 Lectures/Proms | 23:00-24:00 Lectures/Proms | 23:00-24:00 Lectures/Proms | 23:00-24:00 Lectures/Proms |
| 24:00-25:00 Lectures/Proms | 24:00-25:00 Lectures/Proms | 24:00-25:00 Lectures/Proms | 24:00-25:00 Lectures/Proms | 24:00-25:00 Lectures/Proms |
| 25:00-26:00 Lectures/Proms | 25:00-26:00 Lectures/Proms | 25:00-26:00 Lectures/Proms | 25:00-26:00 Lectures/Proms | 25:00-26:00 Lectures/Proms |
| 26:00-27:00 Lectures/Proms | 26:00-27:00 Lectures/Proms | 26:00-27:00 Lectures/Proms | 26:00-27:00 Lectures/Proms | 26:00-27:00 Lectures/Proms |
| 27:00-28:00 Lectures/Proms | 27:00-28:00 Lectures/Proms | 27:00-28:00 Lectures/Proms | 27:00-28:00 Lectures/Proms | 27:00-28:00 Lectures/Proms |
| 28:00-29:00 Lectures/Proms | 28:00-29:00 Lectures/Proms | 28:00-29:00 Lectures/Proms | 28:00-29:00 Lectures/Proms | 28:00-29:00 Lectures/Proms |
| 29:00-30:00 Lectures/Proms | 29:00-30:00 Lectures/Proms | 29:00-30:00 Lectures/Proms | 29:00-30:00 Lectures/Proms | 29:00-30:00 Lectures/Proms |
| 30:00-31:00 Lectures/Proms | 30:00-31:00 Lectures/Proms | 30:00-31:00 Lectures/Proms | 30:00-31:00 Lectures/Proms | 30:00-31:00 Lectures/Proms |
| 31:00-32:00 Lectures/Proms | 31:00-32:00 Lectures/Proms | 31:00-32:00 Lectures/Proms | 31:00-32:00 Lectures/Proms | 31:00-32:00 Lectures/Proms |
| 32:00-33:00 Lectures/Proms | 32:00-33:00 Lectures/Proms | 32:00-33:00 Lectures/Proms | 32:00-33:00 Lectures/Proms | 32:00-33:00 Lectures/Proms |
| 33:00-34:00 Lectures/Proms | 33:00-34:00 Lectures/Proms | 33:00-34:00 Lectures/Proms | 33:00-34:00 Lectures/Proms | 33:00-34:00 Lectures/Proms |
| 34:00-35:00 Lectures/Proms | 34:00-35:00 Lectures/Proms | 34:00-35:00 Lectures/Proms | 34:00-35:00 Lectures/Proms | 34:00-35:00 Lectures/Proms |
| 35:00-36:00 Lectures/Proms | 35:00-36:00 Lectures/Proms | 35:00-36:00 Lectures/Proms | 35:00-36:00 Lectures/Proms | 35:00-36:00 Lectures/Proms |
| 36:00-37:00 Lectures/Proms | 36:00-37:00 Lectures/Proms | 36:00-37:00 Lectures/Proms | 36:00-37:00 Lectures/Proms | 36:00-37:00 Lectures/Proms |
| 37:00-38:00 Lectures/Proms | 37:00-38:00 Lectures/Proms | 37:00-38:00 Lectures/Proms | 37:00-38:00 Lectures/Proms | 37:00-38:00 Lectures/Proms |
| 38:00-39:00 Lectures/Proms | 38:00-39:00 Lectures/Proms | 38:00-39:00 Lectures/Proms | 38:00-39:00 Lectures/Proms | 38:00-39:00 Lectures/Proms |
| 39:00-40:00 Lectures/Proms | 39:00-40:00 Lectures/Proms | 39:00-40:00 Lectures/Proms | 39:00-40:00 Lectures/Proms | 39:00-40:00 Lectures/Proms |
| 40:00-41:00 Lectures/Proms | 40:00-41:00 Lectures/Proms | 40:00-41:00 Lectures/Proms | 40:00-41:00 Lectures/Proms | 40:00-41:00 Lectures/Proms |
| 41:00-42:00 Lectures/Proms | 41:00-42:00 Lectures/Proms | 41:00-42:00 Lectures/Proms | 41:00-42:00 Lectures/Proms | 41:00-42:00 Lectures/Proms |
| 42:00-43:00 Lectures/Proms | 42:00-43:00 Lectures/Proms | 42:00-43:00 Lectures/Proms | 42:00-43:00 Lectures/Proms | 42:00-43:00 Lectures/Proms |
| 43:00-44:00 Lectures/Proms | 43:00-44:00 Lectures/Proms | 43:00-44:00 Lectures/Proms | 43:00-44:00 Lectures/Proms | 43:00-44:00 Lectures/Proms |
| 44:00-45:00 Lectures/Proms | 44:00-45:00 Lectures/Proms | 44:00-45:00 Lectures/Proms | 44:00-45:00 Lectures/Proms | 44:00-45:00 Lectures/Proms |
| 45:00-46:00 Lectures/Proms | 45:00-46:00 Lectures/Proms | 45:00-46:00 Lectures/Proms | 45:00-46:00 Lectures/Proms | 45:00-46:00 Lectures/Proms |
| 46:00-47:00 Lectures/Proms | 46:00-47:00 Lectures/Proms | 46:00-47:00 Lectures/Proms | 46:00-47:00 Lectures/Proms | 46:00-47:00 Lectures/Proms |
| 47:00-48:00 Lectures/Proms | 47:00-48:00 Lectures/Proms | 47:00-48:00 Lectures/Proms | 47:00-48:00 Lectures/Proms | 47:00-48:00 Lectures/Proms |
| 48:00-49:00 Lectures/Proms | 48:00-49:00 Lectures/Proms | 48:00-49:00 Lectures/Proms | 48:00-49:00 Lectures/Proms | 48:00-49:00 Lectures/Proms |
| 49:00-50:00 Lectures/Proms | 49:00-50:00 Lectures/Proms | 49:00-50:00 Lectures/Proms | 49:00-50:00 Lectures/Proms | 49:00-50:00 Lectures/Proms |
| 50:00-51:00 Lectures/Proms | 50:00-51:00 Lectures/Proms | 50:00-51:00 Lectures/Proms | 50:00-51:00 Lectures/Proms | 50:00-51:00 Lectures/Proms |
| 51:00-52:00 Lectures/Proms | 51:00-52:00 Lectures/Proms | 51:00-52:00 Lectures/Proms | 51:00-52:00 Lectures/Proms | 51:00-52:00 Lectures/Proms |
| 52:00-53:00 Lectures/Proms | 52:00-53:00 Lectures/Proms | 52:00-53:00 Lectures/Proms | 52:00-53:00 Lectures/Proms | 52:00-53:00 Lectures/Proms |
| 53:00-54:00 Lectures/Proms | 53:00-54:00 Lectures/Proms | 53:00-54:00 Lectures/Proms | 53:00-54:00 Lectures/Proms | 53:00-54:00 Lectures/Proms |
| 54:00-55:00 Lectures/Proms | 54:00-55:00 Lectures/Proms | 54:00-55:00 Lectures/Proms | 54:00-55:00 Lectures/Proms | 54:00-55:00 Lectures/Proms |
| 55:00-56:00 Lectures/Proms | 55:00-56:00 Lectures/Proms | 55:00-56:00 Lectures/Proms | 55:00-56:00 Lectures/Proms | 55:00-56:00 Lectures/Proms |
| 56:00-57:00 Lectures/Proms | 56:00-57:00 Lectures/Proms | 56:00-57:00 Lectures/Proms | 56:00-57:00 Lectures/Proms | 56:00-57:00 Lectures/Proms |
| 57:00-58:00 Lectures/Proms | 57:00-58:00 Lectures/Proms | 57:00-58:00 Lectures/Proms | 57:00-58:00 Lectures/Proms | 57:00-58:00 Lectures/Proms |
| 58:00-59:00 Lectures/Proms | 58:00-59:00 Lectures/Proms | 58:00-59:00 Lectures/Proms | 58:00-59:00 Lectures/Proms | 58:00-59:00 Lectures/Proms |
| 59:00-60:00 Lectures/Proms | 59:00-60:00 Lectures/Proms | 59:00-60:00 Lectures/Proms | 59:00-60:00 Lectures/Proms | 59:00-60:00 Lectures/Proms |
| 60:00-61:00 Lectures/Proms | 60:00-61:00 Lectures/Proms | 60:00-61:00 Lectures/Proms | 60:00-61:00 Lectures/Proms | 60:00-61:00 Lectures/Proms |
| 61:00-62:00 Lectures/Proms | 61:00-62:00 Lectures/Proms | 61:00-62:00 Lectures/Proms | 61:00-62:00 Lectures/Proms | 61:00-62:00 Lectures/Proms |
| 62:00-63:00 Lectures/Proms | 62:00-63:00 Lectures/Proms | 62:00-63:00 Lectures/Proms | 62:00-63:00 Lectures/Proms | 62:00-63:00 Lectures/Proms |
| 63:00-64:00 Lectures/Proms | 63:00-64:00 Lectures/Proms | 63:00-64:00 Lectures/Proms | 63:00-64:00 Lectures/Proms | 63:00-64:00 Lectures/Proms |
| 64:00-65:00 Lectures/Proms | 64:00-65:00 Lectures/Proms | 64:00-65:00 Lectures/Proms | 64:00-65:00 Lectures/Proms | 64:00-65:00 Lectures/Proms |
| 65:00-66:00 Lectures/Proms | 65:00-66:00 Lectures/Proms | 65:00-66:00 Lectures/Proms | 65:00-66:00 Lectures/Proms | 65:00-66:00 Lectures/Proms |
| 66:00-67:00 Lectures/Proms | 66:00-67:00 Lectures/Proms | 66:00-67:00 Lectures/Proms | 66:00-67:00 Lectures/Proms | 66:00-67:00 Lectures/Proms |
| 67:00-68:00 Lectures/Proms | 67:00-68:00 Lectures/Proms | 67:00-68:00 Lectures/Proms | 67:00-68:00 Lectures/Proms | 67:00-68:00 Lectures/Proms |
| 68:00-69:00 Lectures/Proms | 68:00-69:00 Lectures/Proms | 68:00-69:00 Lectures/Proms | 68:00-69:00 Lectures/Proms | 68:00-69:00 Lectures/Proms |
| 69:00-70:00 Lectures/Proms | 69:00-70:00 Lectures/Proms | 69:00-70:00 Lectures/Proms | 69:00-70:00 Lectures/Proms | 69:00-70:00 Lectures/Proms |
| 70:00-71:00 Lectures/Proms | 70:00-71:00 Lectures/Proms | 70:00-71:00 Lectures/Proms | 70:00-71:00 Lectures/Proms | 70:00-71:00 Lectures/Proms |
| 71:00-72:00 Lectures/Proms | 71:00-72:00 Lectures/Proms | 71:00-72:00 Lectures/Proms | 71:00-72:00 Lectures/Proms | 71:00-72:00 Lectures/Proms |
| 72:00-73:00 Lectures/Proms | 72:00-73:00 Lectures/Proms | 72:00-73:00 Lectures/Proms | 72:00-73:00 Lectures/Proms | 72:00-73:00 Lectures/Proms |
| 73:00-74:00 Lectures/Proms | 73:00-74:00 Lectures/Proms | 73:00-74:00 Lectures/Proms | 73:00-74:00 Lectures/Proms | 73:00-74:00 Lectures/Proms |
| 74:00-75:00 Lectures/Proms | 74:00-75:00 Lectures/Proms | 74:00-75:00 Lectures/Proms | 74:00-75:00 Lectures/Proms | 74:00-75:00 Lectures/Proms |
| 75:00-76:00 Lectures/Proms | 75:00-76:00 Lectures/Proms | 75:00-76:00 Lectures/Proms | 75:00-76:00 Lectures/Proms | 75:00-76:00 Lectures/Proms |
| 76:00-77:00 Lectures/Proms | 76:00-77:00 Lectures/Proms | 76:00-77:00 Lectures/Proms | 76:00-77:00 Lectures/Proms | 76:00-77:00 Lectures/Proms |
| 77:00-78:00 Lectures/Proms | 77:00-78:00 Lectures/Proms | 77:00-78:00 Lectures/Proms | 77:00-78:00 Lectures/Proms | 77:00-78:00 Lectures/Proms |
| 78:00-79:00 Lectures/Proms | 78:00-79:00 Lectures/Proms | 78:00-79:00 Lectures/Proms | 78:00-79:00 Lectures/Proms | 78:00-79:00 Lectures/Proms |
| 79:00-80:00 Lectures/Proms | 79:00-80:00 Lectures/Proms | 79:00-80:00 Lectures/Proms | 79:00-80:00 Lectures/Proms | 79:00-80:00 Lectures/Proms |
| 80:00-81:00 Lectures/Proms | 80:00-81:00 Lectures/Proms | 80:00-81:00 Lectures/Proms | 80:00-81:00 Lectures/Proms | 80:00-81:00 Lectures/Proms |
| 81:00-82:00 Lectures/Proms | 81:00-82:00 Lectures/Proms | 81:00-82:00 Lectures/Proms | 81:00-82:00 Lectures/Proms | 81:00-82:00 Lectures/Proms |
| 82:00-83:00 Lectures/Proms | 82:00-83:00 Lectures/Proms | 82:00-83:00 Lectures/Proms | 82:00-83:00 Lectures/Proms | 82:00-83:00 Lectures/Proms |
| 83:00-84:00 Lectures/Proms | 83:00-84:00 Lectures/Proms | 83:00-84:00 Lectures/Proms | 83:00-84:00 Lectures/Proms | 83:00-84:00 Lectures/Proms |
| 84:00-85:00 Lectures/Proms | 84:00-85:00 Lectures/Proms | 84:00-85:00 Lectures/Proms | 84:00-85:00 Lectures/Proms | 84:00-85:00 Lectures/Proms |
| 85:00-86:00 Lectures/Proms | 85:00-86:00 Lectures/Proms | 85:00-86:00 Lectures/Proms | 85:00-86:00 Lectures/Proms | 85:00-86:00 Lectures/Proms |
| 86:00-87:00 Lectures/Proms | 86:00-87:00 Lectures/Proms | 86:00-87:00 Lectures/Proms | 86:00-87:00 Lectures/Proms | 86:00-87:00 Lectures/Proms |
| 87:00-88:00 Lectures/Proms | 87:00-88:00 Lectures/Proms | 87:00-88:00 Lectures/Proms | 87:00-88:00 Lectures/Proms | 87:00-88:00 Lectures/Proms |
| 88:00-89:00 Lectures/Proms | 88:00-89:00 Lectures/Proms | 88:00-89:00 Lectures/Proms | 88:00-89:00 Lectures/Proms | 88:00-89:00 Lectures/Proms |
| 89:00-90:00 Lectures/Proms | 89:00-90:00 Lectures/Proms | 89:00-90:00 Lectures/Proms | 89:00-90:00 Lectures/Proms | 89:00-90:00 Lectures/Proms |
| 90:00-91:00 Lectures/Proms | 90:00-91:00 Lectures/Proms | 90:00-91:00 Lectures/Proms | 90:00-91:00 Lectures/Proms | 90:00-91:00 Lectures/Proms |
| 91:00-92:00 Lectures/Proms | 91:00-92:00 Lectures/Proms | 91:00-92:00 Lectures/Proms | 91:00-92:00 Lectures/Proms | 91:00-92:00 Lectures/Proms |
| 92:00-93:00 Lectures/Proms | 92:00-93:00 Lectures/Proms | 92:00-93:00 Lectures/Proms | 92:00-93:00 Lectures/Proms | 92:00-93:00 Lectures/Proms |
| 93:00-94:00 Lectures/Proms | 93:00-94:00 Lectures/Proms | 93:00-94:00 Lectures/Proms | 93:00-94:00 Lectures/Proms | 93:00-94:00 Lectures/Proms |
| 94:00-95:00 Lectures/Proms | 94:00-95:00 Lectures/Proms | 94:00-95:00 Lectures/Proms | 94:00-95:00 Lectures/Proms | 94:00-95:00 Lectures/Proms |
| 95:00-96:00 Lectures/Proms | 95:00-96:00 Lectures/Proms | 95:00-96:00 Lectures/Proms | 95:00-96:00 Lectures/Proms | 95:00-96:00 Lectures/Proms |
| 96:00-97:00 Lectures/Proms | 96:00-97:00 Lectures/Proms | 96:00-97:00 Lectures/Proms | 96:00-97:00 Lectures/Proms | 96:00-97:00 Lectures/Proms</ |

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年8月28日

| | | | |
|------------------|---|--------------------------|--------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 文学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部3 |
| 参加プログラム: | IFCELS summer course international relations | 派遣先大学: | SOAS |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| | 1. 研究職 | <input type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| | 5. 民間企業(業界:) | <input type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

ロンドン市内にある、アジア・アフリカの地域研究に特化した、ロンドン大学付属の教育・研究機関。生徒の出身国は様々。

参加した動機

語学力向上のため・国際関係について知り、専門分野において役立てるため・ヨーロッパの文化を実際に目の当たりにし、体験するため。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

受け入れ証明を提出するのを忘れそうになりました。国際交流課にいただくチェックリストだけで構わないので、しっかりとチェックしたほうがよかったです。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

日本と韓国の生徒はビザなしでも大丈夫という通知を受けたので申請しませんでした。その代わりに、プログラムの受け入れ証明をきちんと入国審査で提示できるように携帯しておくようにしました。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

基本的に常備薬を少量もっていったのですが、出発前に急にじんましんができて治ることがあったので、病院で少し多めに薬を処方してもらいました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学より指示されたOSSMA・付帯留学に申し込みました。また、外務省の「たびレジ」に登録しました。どちらも実際に使うような機会には逢わずに済みましたが、大学近くで殺傷事件があったことを「たびレジ」によって知ったので、登録しておいてよかったと感じました。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特に授業や試験等に差支えはなかったので、あまり参考にならないかと思います。

| |
|--|
| <p>⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)</p> <p>IELTS6.5程度 リスニングが苦手だったのでBCCのニュースチップを視聴するようにしました。</p> |
| <p>⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど</p> <p>たいていのものは寮近くのスーパーでそろったので、特に持っていく必要はないと思います。Sainsberry's、Metro などのスーパーの名前と場所を調べておくと役に立つと思います。</p> |
| <p>学習・研究について</p> |
| <p>①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)</p> <p>私のクラスでは、授業は二人の先生によって行われました。教科書は指定されたものの授業内では使わず、レジュメを多く用いました。文法・語彙やシンプルなYes・No問題のプリントを使いつつテーマのイントロダクション→レクチャー(講義)→ディスカッション→ディベート、その流れの間にテーマに沿ったレジュメや視聴覚教材を利用した授業が適宜はさまっている感じです。予習復習は(前回の内容を覚えていさえすれば)特に必要ないですが、最後の日に5分ほどのプレゼンテーションがあるので、その準備を進めておく必要がありました。扱う話題は国家の体制・EU問題(特にタイムリーなBriexit)・難民・テロリズム・気候変動など、でした。</p> |
| <p>②学習・研究面でのアドバイス</p> <p>日本やアジアのことに對してはよく知っていたものの、ヨーロッパ・中東情勢に不勉強なことが多く、具体例の把握に時間をとられてしまったり理解が遅れてしまったり、あるいはディスカッションのときに話題やいい質問が浮かばなかったりということが非常にもったいなかったです。授業内容がある程度前日までには予言されるものの、日ごろから関心をもっともっておいたり、プログラム開始前に勉強していったりすればよかったと感じました。</p> |
| <p>③語学面での苦勞・アドバイス等</p> <p>先述の通り、文法・語彙やYes・No問題でのフォローアップがあるので、それほど苦勞しませんでした。ただ、授業の中で出てくる視聴覚教材のように全くネイティブ向けの英語のリスニングは全然ついていくことができず、歯がゆい思いで聞いていました。また、思っていることをすぐに言葉にすることがなかなかできず、ディベートはまだよいのですが、ディスカッションの時に苦勞しました。</p> |
| <p>生活について</p> |
| <p>①宿泊先(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)</p> <p>Dinwiddy という大学の寮に入寮しました。24時間、職員さんがいたので、寮内はとても快適に過ごすことができました。コインランドリーがネット経由でチャージするプリペイドカード式なので、前もって登録する必要はありませんが、Paypalにその場で登録できないと困ったと思います。</p> |
| <p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)</p> <p>8月という時期柄、ほぼ晴れていました。寒くはなかったのですが、通り雨は多く上着、できれば傘を持ち歩くとういように思います。大学は大英博物館にも近い、大学が集中して立地しているアカデミックなエリアにあります。交通機関は地下鉄とバスを並行して使い、日本でいうSuicaのようなOystercardを購入して使っていました。一日の運賃に上限があるので、移動はまとめてすることをお勧めします。また、紙幣でチャージできないことも多く、クレジットカードがないと困ります。友達と外食する場所には困らないのですが、イギリス人はあまり一人で外食をせず、一人だと選択肢がファストフードかカフェに限られてしまうので、一人の時はスーパーなどで購入したものを自炊していました。お金は日本で換金したものとクレジットカードを並行して使い、足りなくなったら新生銀行(現地通貨で引き出すことが可能です)の口座からというつもりでいました。</p> |

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

道に座り込んでお金をつっているホームレスらしき人が日本よりかなり多く、絡まれることはないものなるべく近寄らないようにしていました。また、夏は日が長く8時ころまでは日が沈み切らないのですが、日が沈んでから、特に地下鉄内や駅構内は複数人で注意して歩いたほうがいいです。かばんの中にかばんを入れ、貴重品は内側のかばんの中に入れていました。

④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

航空賃が13.5万円、授業料と居住料が32万円(ポンド下落前なので今はもう少し安いかと)、それ以外については現金の使い道がたどれず、把握するのが難しいです。パンや牛乳、果物などは安かったのですが、基本的に食べ物の値段は(量は多いですが)高めでした。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

夏季短期留学のプログラムに含まれているということで、応募手続きとは別に夏季短期留学奨学金に応募し、10万円を東京大学からいただきました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

大英博物館が歩いて10分くらいのところにあるので、昼休みに行くことができました。放課後や週末は各種美術館や教会・寺院など、たいへん規模が大きく立派なのに無料で見学できる(寄付はついていたので、ちよつとずつ払うようにしました)ところがたくさんあり、お金をそれほどかけずに見て回ることができました。ウエストミンスター寺院でのオルガンコンサートと、ピカデリーサーカス付近にある劇場でのお芝居は、日本で観るよりは質も値もよいだらうと思ひ、せっかくの機会なのでチケットを購入して見に行きました。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

オリエンテーションで生活面などへの注意喚起などもあり、特に困った点はありませんでした。歓迎パーティ・送別パーティ・放課後のテムズ川南岸さんぽ会(1回)の開催がありました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館のオリエンテーションを行ってくれます。印刷もそこでできるようです。食堂とコーヒーショップ・売店が本棟内にあります。毎週木曜には近くでファーマーズマーケットが開かれていました。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

国際関係について英語でとらえ、知り、議論するという体験は、飛び込んでみると非常に新鮮で、こちらの様子をよく見てくれる先生のもと、独学するときを感じる心理的ハードルをほとんど感じませんでした。また、特に聞き取れなかったブリティッシュ・イングリッシュに対してもかなり慣れ、苦手意識が緩和されました。しかし、私のいるクラスはおよそ3分の2が日本人で、私を含め、やる気はあるもののスピーキングが得意でなかったり、ディベートにおいて最初は積極性に欠けていたり、知識に良くも悪くも偏りがあつたりということがあり、正直に言えばフラストレーションを感じました。プログラム選択の時点でどうにかできなかったか、もっと自分を磨いてから行くべきだったという自省と、日本の大学生が夏季に大量に留学することで生じるデメリットがあるのに今の留学支援施策のままでいいのだろうかという疑問を強く感じました。

②参加後の予定

今回の留学はたいへんよい経験になりましたが、自分の専攻を鑑みると、こういう機会を今後も設けるかはちょっとわかりません。しかし、日本にいてもやれることはまだまだあると気づいたことと、日本語の枠内で生活していると、気づかぬうちに世界から見たらどんどん内向的になってしまっているんだろうなという実感は大切に、英語やその他の語学の勉強は地道に続けようと思いました。

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

プログラムのテーマ自体が自分の目的に合致していれば、環境が多少予想と違っていても満足はできると思います。なので、自分の目的に合致したテーマのプログラムをきちんと選ぶことが重要だと思います。また、スコア制限があるプログラムのほうが生徒の語学レベルが高くなるであろうことは間違いないので、時間に余裕のない場合をのぞいて、なるべく点数をあげたり、プログラム選択の時点で注意して選んだりすることをお勧めします。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

大学から送付されてくる大学生生活のパンフレット・寮のパンフレット(特に寮から大学の地図)を印刷していくと初期に便利でした。ガイドブックは『地球の歩き方 ロンドン』一冊で十分だと思います。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年9 月20 日

| | | | |
|------------------|-------------------------|-------------------------------------|--------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 教養学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部2 |
| 参加プログラム: | International Relations | 派遣先大学: | ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| | 1. 研究職 | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| | 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| | 5. 民間企業(業界:) | <input type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| | 7. その他() | <input type="checkbox"/> | |

派遣先大学の概要

SOASはロンドン、ラッセルスクエアに本部を持つ、ロンドン大学に所属する英国唯一の地域研究に特化した教育研究機関で、創設は1916年。研究対象の地域はアジア、アフリカ、中近東です。これらの地域を対象とする研究機関では世界最大であり、また、研究対象の地域から多くの留学生を受け入れているため正規課程の学生の40%以上が留学生で国際色豊かな大学です。

参加した動機

将来的には長期での留学を考えていますが、その前に長期休暇を利用して英語圏に短期留学したいと以前から考えていました。SOASはイギリスの中で代表的な大学であり、正規課程においても非常に留学生が多く、長期留学をする前に短期で参加するプログラムとして最適なものでした。コースの内容としてinterntional relationsを選んだのは、将来国際的に活躍できる仕事をしたいため国際関係を学んでおくべきだと思っていましたが、自分の専攻ではないため日本の大学で勉強する機会がなさそうだったからです。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

参加手続きは自分でロンドン大学のウェブサイトから行いましたが、当然ながら全て英語のため理解するのに時間がかかり予想以上に大変でした。時間に余裕があるうちに、早めに手続きすることをお勧めします。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

イギリスの場合、3か月未満なら日本人はビザは不要です。ビザが必要かどうか早めに調べておくべきです。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

特別な準備はしませんでした。常備薬のみ持っていきました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

付帯海学に加入しました。

| |
|--|
| ⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して) |
| <p>東京大学に単位認定の申請は行いませんでした。プログラム参加の手続きは派遣先大学に直接行い、特に東京大学での手続きは必要ありませんでした。</p> |
| ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等) |
| <p>プログラムに申し込む以前に、このプログラムの参加の目安であるIELTS6.5は所得していましたが、リーディング、リスニング、ライティングに比べてスピーキングのスコアが極端に低かったため、TOEFLとIELTSのスピーキング対策の参考書を購入し勉強しました。出発直前にIELTSとTOEFLを実際に受験し、スピーキング以外についてもそのための勉強をすることで語学力の向上をはかりました。</p> |
| ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど |
| <p>ノートパソコンは必ず持っていくべきです。その他の日用品などは、ロンドンに関していえば、現地で購入できるものがほとんどなのであまり心配する必要は無いと思います。</p> |
| 学習・研究について |
| ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等) |
| <p>授業は基本的にはレクチャーとディスカッションで進む形式でした。レクチャーを受ける前にまずレクチャーの内容について必要な知識(その学問分野における基本用語や専門的な英単語)の確認が1コマあり、事前にクラス全員で内容を整理しました。その後1コマレクチャーがあり、その次にレクチャーの内容についてのディスカッションのコマがありました。ディスカッションでは先生がレクチャーの内容について理解度を確認する質問(単純に知識を問う質問)をしたり、各学生に具体的な社会問題の解決策などについての自分の意見を尋ねたりしました。扱った内容は、連帯主義、現実主義、世界主義などの理論的内容や、内政不干渉と国連による干渉、難民問題、環境問題などの具体的問題です。3人程度のグループに分かれ、上述したような問題についてテーマを決めて分析し、最終回でプレゼンテーションを行いました。</p> |
| ②学習・研究面でのアドバイス |
| <p>授業の予習・復習は思っていたよりも大変でした。特に私は日本の大学で専攻していない内容についての講義だったため、日本語でも理解するのが難しい抽象的内容を英語で講義を受けて理解するのは非常に大変でした。事前に教科書の予習は行っていましたが、いきなり英語の教科書を読んでいたため、理解が不十分だったかもしれません。予備知識がない分野の講義を取る場合は、事前に日本語である程度勉強してから英語の教科書を読むなどしたほうが良いかもしれません。</p> |
| ③語学面での苦勞・アドバイス等 |
| <p>②の内容と重複しますが、あまり知識のない学問分野の講義をいきなり英語で理解しようとするのはかなり難しいです。事前に英語ではなく日本語で予備知識を身に付けておくことを強くお勧めします。</p> |
| 生活について |
| ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など) |
| <p>寮は大学の寮にしました。プログラムの申し込みと同時に寮の予約もできるようになっていたためその時申し込みました。大学から徒歩圏内で便利でした。</p> |

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

ロンドンには日本に比べてかなり涼しく、天気によっては夜は寒いくらいでした。日本より厚着が必要だと思います。バスと地下鉄が発達していて東京と同様に交通は便利でした。食事については、寮は自炊できるようになっていましたが、平日は時間の都合などで主にテイクアウトで済ませました。基本的にすべての買い物はクレジットカードが使えるため、現金はあまり必要ありませんでした。ただクレジットカードでは使った金額が把握しにくく、海外だと金銭感覚も正確でなくなるので、その点には注意が必要だと思います。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

大学や寮の周辺は非常に治安がよく夜遅くまで出歩いている学生も多かったです。医療機関には一度もかかりませんでした。慣れない環境で体調を崩している人もいましたので、食事には気を付けるべきだと感じました。

④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

航空券は乗り継ぎが2回ある格安航空を使い11万円程度でした。授業料と寮の宿泊費で日本円で23万円程度、教科書代などはそれほどかかっていません。現地での食費、交通費、娯楽費などは3週間で13万円程度、その他に日本からのポケットWifiのレンタルや日用品などを合わせ、総額で50万円程度です。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東京大学の本部国際交流課が募集している奨学金付きのプログラムで応募しました。JASSOから10万円、卒業生有志の短期留学支援プログラム「東大生海外体験プロジェクト」から10万円の合計20万円です。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

平日は10時から16時くらいまで授業がありましたが、サマータイムのため夜9時くらいまで明るく授業後にも観光に出かけることが出来ました。週末は現地の大学のクラスメイトと一緒に少し遠くの観光地などに出かけました。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

語学面のサポートは授業中に含まれていました。生活面なども何かあった時に相談できる窓口はありましたが自分は利用していません。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

短期プログラムの学生でも、図書館は本を借りるだけでなくパソコンやプリンターも使用できました。スポーツ施設は大学の構内にはありませんでしたが、食堂は広く昼休みでも席が空いていなくて困るということはありませんでした。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

私が参加したプログラムは英語そのものを学ぶ授業ではなく、国際関係を学ぶものでした。国際関係の勉強自体は日本でもできなくはありませんが、海外で日本人以外の学生と一緒に勉強するのは、日本で勉強するのとは全く意味が違います。日本の外にでて学ぶことで、今まで知識として知っていただけの国際社会の問題が、実際に自分の生活に関係しているものとして捉えられるようになりました。また、日本人は一般的にディスカッションなどで発言することがあまり得意でないとされていますが、海外の大学で授業を受けることで自分の意見を発言することにも慣れることが出来たと思います。ですが3週間だけの短期プログラムでしたので、今回だけで終わらせるのではなく、また長期休暇中にこのようなプログラムに参加することでさらに成果をあげられると思います。

②参加後の予定

2月、3月の長期休暇中にもまたこのようなプログラムに参加することを考えています。次回はプログラムに必要とされるIELTS,TOEFLのスコアが今回よりも少し高いものに参加できると思っています。今回以上の成果をあげられると確信しています。

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学は実際にプログラムに参加するまでの書類などの手続きがとても大変です。これらのことも留学の一部だと思います。書類の提出期限には特に気を付けて頑張ってください。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

留学先で自由な時間が多くあり、週末など観光などに出かけたい場合は、ガイドブックのようなものを日本から持っていくと便利です。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016年 9月 13日

| | | | |
|--------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 教養学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部2 |
| 参加プログラム: | International Foundation Courses and English Language Studies (IFCELS) (SOAS) | 派遣先大学: | ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究職 | <input checked="" type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 民間企業(業界:) | <input type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

ロンドン大学を構成する、イギリスで最もアジア・アフリカ研究が盛んな大学で、サマープログラムとしては語学のサポートが付随したアカデミックな講義を提供しています。

参加した動機

今まで、英語圏に行ったことがなかったため、イギリスに留学してみたいと思っていたときにこのプログラムの存在を知ったからです。自分の視野を広げること、英語能力を向上させて今後の学習の幅を広げること、そしてディスカッションを通じて自分の意見を主張する癖をつけることを主な目的として行きました。また、海外の学生の様子を知ることも目的の一つでした。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

本部国際交流課からの資料、派遣先大学からの資料にしっかりと目を通して、抜かりなく手続きを進める必要があります。準備も含めて留学と言われるますが、まさにその通りで、とても勉強になりました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

short-term student visaというのをイギリスに入国する際に空港で取得しました。学校からのvisaレター、英文ポンド建ての残高証明書、滞在先を示すもの、帰りの航空券などを用意して行きました。私は入国の目的と期間を確認されただけで簡単にvisaをもらうことができました。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

現地では調達できない薬などを事前に日本で調達しておきました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

本部国際交流課に指定された付帯海学とOSSMAIに加入しました。その他の保険には加入していません。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

渡航届を提出しました。また、当然ですが試験と留学期間がかぶっていないかの確認はしておきました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

留学直前の2年のSセメスターで英語の授業を一切取っていなかったため、少しだけですが英語の本を読む、ニュースを聞くなどを自分でしていました。現地に行って自分のリスニング力の低さに焦ったので、もう少しリスニングの勉強をしてから行けば得るものも大きかったのではないかと少し後悔しました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

『地球の歩き方』を持参しました。地図や観光ポイント、持っていくべきものなど情報が多く役に立ちました。また、現地ですべて一人で行動すること、友達との待ち合わせなどに連絡を取る必要があることを鑑みると、フリーWi-Fiを拾うだけでは心許なかったので、SIMロックフリーの携帯電話を日本で調達して行きました。現地ではVodafoneのショップに行きプリペイド式のSIMカードを買い、お店の人に設定してもらいました。この場合APNの設定の仕方などを事前に調べていった方がよいと思います。現地でSIMカードを購入する方法はポケットWi-Fiを借りるよりも断然安く、便利なのでお勧めします。

学習・研究について

①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)

Preview, Lecture, Review, Seminarという4つの過程で授業が構成されていました。Lectureは一方的な講義ですが、Reviewで内容の理解を補えるように構成されています。Previewでは文章を読んだりし基礎的な知識の補充をしたり、専門用語やイディオムの確認をしたりしました。用語の確認をするときにまずは生徒が自分で意味を推測できるように流れが組んであったことが印象に残っています。予習は特に必要ありませんでしたが、case studyの文章など、何度か事前に文章を読んでいく必要がありました。復習は授業ノートを見返し、分からない語句などがあれば調べていくようにしていました。

②学習・研究面でのアドバイス

当たり前ですが、もし授業の内容が分からなかったらインターネットなどを利用し、自分でしっかり復習をすることをお勧めします。復習しておく、次の授業の理解がしやすく、自信にもなります。また、どのコースを選ぶのかも重要になってきます。もちろん、自分の興味のある分野を選べばよいのですが、コースによっては参加する生徒の国籍が偏ってしまうこともあります。私の選んだコースは2つとも日本人が多く、もう少し日本人が少なそうなコースという視点を持って選んでおけば良かったなと後悔しました。

③語学面での苦勞・アドバイス等

このコースに参加する人は英語が母語でない人がほとんどです。そのため、授業中の話し合いや普段の会話でも相手の英語が完ぺきではないため、聞き取れないことも多々ありました。そのときに適当に相槌を打つのではなく、分からなかったら聞き返した方がよいと思います。幸い私の周りの人は聞き返すと、言葉を変えて丁寧に言い直してくれました。また、授業などで知らない単語が出てきたときは積極的に英英辞典を使ってください。せつかくの英語の勉強の機会を無駄にしない手はないと思います。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

学校が紹介してくれたDinwiddy Houseという寮に滞在しました。最寄りのキングスクロス駅から徒歩10分程度、学校までも徒歩25分程度と便利な立地でした。毎日学校までは歩いていきましたが、学校の開始時間も9時や10時なので、特に負担なく通えました。周りにスーパーや飲食店もあるので生活には困りませんでした。部屋は個室でトイレとシャワー(水の出が悪いですが、あきらめるしかありません)と広々とした机及び収納スペースが完備してあります。ドライヤーはありませんでしたが、近くのスーパーや薬局で安く手に入るの現地調達しても構わないと思います。現地で唯一ハンガーだけはなかなか見つけられなかったので、必要な人は持って行くかともいいかもしれませんが、キッチンが共用でしたが、残念ながら私のフラットではフラットメイトと会話しながら食事を共にする機会はほとんどありませんでした。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

ロンドンでは東京に比べて寒いので長袖の上着を持っていくと良いと思います。私は、半袖のT-shirtとその上にウインドブレーカー、寒いときは加えてカーデガンというスタイルで過ごしていました。ウインドブレーカーは軽く、暖かく、傘代わりに也成了りすぐに乾き便利でした。交通機関に関しては地下鉄が発達しているので主としてそれを利用しました。オイスターカードというSuicaのようなものを買って安く乗れます。食事に関しては私は基本外食かスーパーなどで購入していましたが、節約したい人はパスタやサンドイッチなどは簡単に作れて良いと思います。お金は日本で5万円ほどポンドに変えていき、あとは基本的にデビットカードを使っていました。現地での日本円からポンドへの両替は、私が見た限りレートがとても悪いのであまりお勧めしません。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

留学先の治安はそれほど悪いとは思っていませんでしたが、やはり夜遅くの一人行動は慎むべきだと思います。特に、ミュージカルなどは夜遅くまでかかるので、そのようなときは同じ寮の友達と観に行き、帰りが一人にならないようにしていました。また、しっかり睡眠をとるようにはしていました。

④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

航空賃:往復約23万円、授業料:約40万円、家賃:約20万円、食事・交通費・娯楽費など:約20万円でした。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSOから20万円、卒業生有志からの寄付による奨学金20万円をいただきました。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ミュージカルを何度か観に行きました。劇場ごとに演目が決まっていたり、スタンディングオベーションをしたりと日本では体験できないことがたくさんあり、刺激的でした。週末にはnational railなどを利用してロンドン市外に観光に行きました。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

語学面でもサポートがしっかりしており、安心して英語で勉強することができました。また、授業などで分からないところがあれば、質問すると丁寧に答えてもらえ理解が深まりました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

広々とした図書館があり、PC、プリンターも完備してありました。ただし、授業でプレゼンをするので自分のPCとUSBメモリなどは持参していった方が便利だと思います。また、図書館の中にはsilent zoneという静かな空間が設けられており、集中して勉強できました。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

初めて海外学生との授業を体験し、海外の学生の積極性に最初はただただ驚き、感心していただけでしたが、だんだんと彼らの英語も発音、文法を含め完ぺきでないことに気づきました。また、それをきっかけに振り返ってみると、自分を含め日本人でさえも日本語を完ぺきには話せていないという事実、聞き返すことはよくあるという事実が気が付き、そこから、英語を完ぺきに話せないのは当然であり、それでもよいのだと思えるようになりました。この気づきをふまえ、積極的に発言できるようになったのが大きな成長です。加えて英英辞典を使うようになったことも成長だと思います。また、プレゼンをする機会を通じて、プレゼンにおいて大切なことは、いかに聞き手目線に立てるかということだと知りました。このように語学面だけでなくたくさんの気づきに恵まれました。

②参加後の予定

今後、留学をする予定はありません。学部での勉強を深めていこうと思っています。

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

参加を考えているならば、とりあえず参加してみることをお勧めします。留学してからだけでなく、留学の手続きも含め非常に勉強になることが多いです。一度でも経験しておくとなれる気がします。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

『地球の歩き方』

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2016 年 9 月 20 日

| | | | |
|-------------------------------------|---|-------------------------------------|--------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 経済学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部2 |
| 参加プログラム: | International Foundation Courses and English Language Studies (IFCELS) (SOAS) | 派遣先大学: | ロンドン大学SOAS |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| <input type="checkbox"/> | 1. 研究職 | <input type="checkbox"/> | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 公務員 | <input type="checkbox"/> | 4. 非営利団体 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 5. 民間企業(業界: 金融) | <input checked="" type="checkbox"/> | 6. 起業 |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他() | | |

派遣先大学の概要

ロンドン大学のうちの一つ。東洋アフリカと銘打ってはいるが、学問領域は多岐にわたる。

参加した動機

英語圏の中心において、語学力の向上、国際的なビジネスの俯瞰のため。

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

東大の奨学金付きプログラムであっても、さらに外部の奨学金をいただける場合もあるので、早めの情報収集がよいでしょう。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

日本人はビザ不要でした。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

保険に加入した以外は常備薬を持って行った程度でした。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学側の指定した付帯海学とOSSMAに加入しました。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

特にありません。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

IELTS6.5なので高くありません。スピーキングを心配する方が多いとは思いますが、現地では日常会話の聞き取り能力の方が重要です。

| |
|--|
| ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど |
| 保存のきく日本食は必須。リスニング教材よりも映画や海外ドラマなどでのヒアリングに慣れておくとういことかと思ひます。 |
| 学習・研究について |
| ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等) |
| グローバルビジネスのモデル分析、ケーススタディ。事前に語彙の確認から入るので門外漢でもついていけます。 |
| ②学習・研究面でのアドバイス |
| このコースはあくまでも入門者向けなので、意欲的な方は自分でさらに学習を掘り下げた方がいいかと思ひます。 |
| ③語学面での苦勞・アドバイス等 |
| インドネシア・スペイン・中国などいろいろな国の人の英語が聞き取りにくかったです。 |
| 生活について |
| ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など) |
| 大学の準備した寮に泊まりました。友人たちと集まりやすいのは良いですが、設備や環境が良いとは言えませんでした。 |
| ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など) |
| 夏のロンドンは過ごしやすい気候でした。空気は汚く、苦しいです。交通機関は日本と同様です。地下鉄よりもバスを乗りこなした方が安いです。食事は自炊を勧めます。クレジットカードがないと不便です。 |
| ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など) |
| 治安は概して良いです、スリにあったという話も聞きませんでした。 |
| ④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算) |
| 航空費15万、授業料30万弱、寮代10万、教科書5000円、食費観光費娯楽費15万 |
| ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など) |
| 大学のプログラムに付随していました。20万円です。 |
| ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など) |
| 観光 |

| |
|--|
| 派遣先大学の環境について |
| ①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等) |
| 質問しやすい環境と雰囲気でした。生活面でのサポートは特にないです。 |
| ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等) |
| 図書館やPCは充実しています。スポーツ施設は外部の有料のものがあります。食堂はあります。 |
| プログラムを振り返って |
| ①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感 |
| 初の留学は敷居が高く感じられることもありましたが、実際に行ってみると何も不安に思うことはありませんでした。グローバルなビジネスに携わりたいという思いを強くしました。 |
| ②参加後の予定 |
| 本学経済学部におすすめです。 |
| ③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス |
| 短期の留学で慣れておけば、長期の留学をした際により実りのあるものにできると思います。 |
| その他 |
| ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物 |
| るるぶ |
| ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。 |
| |

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

28 年 9月 2 日

| | | | |
|------------------|----------------|---------------|--------------------|
| 東京大学での所属学部・研究科等: | 教養学部 | 学年(プログラム開始時): | 学部2 |
| 参加プログラム: | Summer program | 派遣先大学: | SOAS |
| 卒業・修了後の就職(希望)先: | | | |
| | 1. 研究職 | | 2. 専門職(医師・法曹・会計士等) |
| | ✓ 3. 公務員 | | 4. 非営利団体 |
| | 5. 民間企業(業界:) | | 6. 起業 |
| | 7. その他() | | |

| |
|---|
| 派遣先大学の概要 |
| 東洋について研究している |
| 参加した動機 |
| 英語力を高めたいのと同時にビジネスについて世界経済の中心で学びたいと考えた。 |
| 参加の準備 |
| ①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど) |
| 英語でしっかり読んで注意してやりましょう。 |
| ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど) |
| 大学から送られた書類と帰りの航空券でビザがもらえた |
| ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等) |
| 特に何もしていません |
| ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等) |
| 大学が用意してくれたもの |
| ⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等)に関して) |
| 特に何もしていません |

| |
|---|
| ⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等) |
| やばかったので英会話の練習をしていた。 |
| ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど |
| カップ麺。日本食が恋しくなって買ってしまったりあまりおいしくない店で高いお金で食べる羽目になる。 |
| 学習・研究について |
| ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等) |
| 内容はグローバルビジネスで、グローバリゼーション、ファイナンス、マーケティングといった視点から多国籍企業の例とともに実的なビジネスへの視点を養うことができた。ケーススタディでは3つの企業の成長の過程を学び、英語で互いに議論した。最後の授業での各班に分かれての発表では、4人のチームで英国のEU脱退の影響をSWOT-analysisを用いて考察した。内容とは別に英語のサポートも付いており、予習、復習といった形で授業内容の把握の補助が充実していた。 |
| ②学習・研究面でのアドバイス |
| 宿題はしっかりやろう(笑) |
| ③語学面での苦勞・アドバイス等 |
| 先生が早口で聞き取りにくいえ、よどみなくポンポンしゃべるのでついていくのが大変。 |
| 生活について |
| ①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など) |
| 大学が用意してくれたDinwiddy Houseというところ。 |
| ②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など) |
| 日本の夏より断然涼しいので秋用の服でいくべき。クレジットがいろいろなところで使える。 |
| ③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など) |
| 特に何もしていないです |
| ④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算) |
| 航空券16万円、授業料、家賃で28万円、生活費、娯楽費で15万円くらい使ってしまった。娯楽費にはサッカー代4万も含まれている。 |

| |
|--|
| ⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など) |
| 東大とJASSOの20万円です |
| ⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など) |
| 週末は遠出したりした。行くところはたくさんあります。 |
| 派遣先大学の環境について |
| ①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等) |
| 予習、復習といった形で講義を挟んで語学サポートがあったので助かった。 |
| ②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等) |
| 非常に充実していた。図書館は蔵書が多く、驚かされた。PC環境は整っている。 |
| プログラムを振り返って |
| ①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感 |
| 今回のコースはグローバルビジネスに対する学問的な考察というよりは実践的なビジネス分析に主眼が置かれ、先生が提示する豊富な具体例とともにグローバルビジネスに対する実践的な視点が身についた。またビジネス的な英語学習にも重点が置かれていたため、定義からしっかり考えたり覚える時間があり、そうした単語に多く触れることができた。大学が提供する宿舎での生活であったが、そこでの各国から留学している生徒たちとの交流はほかの何物にも替えがたい貴重でかつ有意義な経験だった。各国の音楽に触れ、各国の言語に触れ、など世界各国から集まるイギリスならではの体験ができたことはとてもよかった。彼らとは英語でコミュニケーションをしていたため英語学習にもなったが、何より一緒に楽しい会話ができ、互いの文化を教えあえたことは単なる英会話練習に留まらない本当に楽しい時間だった。 |
| ②参加後の予定 |
| 一年交換留学してみたくなった |
| ③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス |
| 機会があって迷っているならぜひ行こう！ |
| その他 |
| ①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物 |
| 地球の歩き方イギリス、るるぶイギリス |
| ②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。 |
| |